

会報



2018.7

一般社団法人 北海道電業協会



「都市局長着任にあたって」	札幌市都市局長 佐 藤 博……………	1
(一社)北海道電業協会第52回定時総会		
(一社)日本電設工業協会北海道支部第62回定時総会……………		2～3
(一社)北海道電業協会 役員		
(一社)日本電設工業協会北海道支部 役員……………		4
平成30年度北海道電業協会スローガン……………		5
(一社)北海道電業協会創立50周年		
(一社)日本電設工業協会北海道支部創設60周年記念祝賀会……………		6～9
就任ご挨拶……………		10
	帯広電業協会 会長 川 岸 哲 夫	
	(株)サンテック北海道支社 支社長 澤 田 幸治朗	
顧問会……………		11
～シリーズ～ 1/212だより		
『世界に誇れる田園都市』を目指して ～滝川市～		
	滝川市長 前 田 康 吉……………	12～13
ひと、まち、自然が調和するまち・おこっぺ ～興部町～		
	興部町長 裕 一 寿……………	14～15
平成30年度 技術・安全衛生基礎教育講習会……………		16
平成30年度 1級電気工事施工管理技術検定(学科試験)受験準備講習会……………		17
～シリーズ～ 「私のいちおし」		
	拓北電業(株) 代表取締役社長 鈴 木 暁 彦……………	18
厚生委員会行事報告 ゴルフ部会……………		19
業界だより、理事会、三役会・委員会報告……………		20～22
事務局日誌……………		23
編集後記		



「都市局長着任にあたって」

札幌市都市局長 佐藤 博

このたび都市局長に着任いたしました佐藤でございます。

北海道電業協会の皆さまには、平素より札幌市のさまざまな取組に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

札幌市は、昭和47年に開催されたアジア初の冬季オリンピックを契機として都市基盤の整備が大規模に行われ、目覚ましい発展を遂げました。それから約半世紀が過ぎた現在、当時の建築物は老朽化が進行しており、建築物の適切な保全やリニューアルが重要な課題となっています。また、世界的な要請である低炭素社会の実現に向けて、徹底した省エネルギー化の推進や新エネルギーの導入なども欠かすことの出来ない要素であり、さまざまな課題に並行して対応することが求められています。

札幌市の都市経営戦略である「札幌市まちづくり戦略ビジョン～戦略編～」では、このビジョンで目指す都市像の実現に向けた都市空間創造の基本目標のひとつとして「都市基盤の維持・保全と防災力の強化」を掲げており、わたくしども都市局では都市基盤の効率的かつ計画的な維持・保全を進めるとともに、建築物の耐震化などを促進し、災害に強い都市基盤の整備を進めることで、安全で安心な市民生活の実現を目指しております。

民間建築物の耐震化については、木造住宅の耐震診断を無料で実施しているほか、耐震設計や耐

震改修工事等にかかる経費の一部補助などを行っておりますが、更なる耐震化の促進を図るため、今年度より設計と工事をパッケージ化して手続きを簡略化するほか、経済的負担や生活スタイルの多様化などを考慮して段階的な耐震改修工事にも活用していただけるよう補助制度の見直しを行いました。

さらに、社会問題となっている適切な管理がされていない空き家対策について、金融機関やNPO、不動産事業者団体のほか、札幌司法書士会とも連携しながら、空き家の除却のみならず流通も含めた解決に向けて、引き続き対応を進めてまいります。

また、家庭における暖房エネルギーの削減を目的として既存住宅の高断熱化を支援する「住宅エコリフォーム補助制度」や、市独自の高断熱・高气密住宅基準である「札幌版次世代住宅基準」に適合する住宅の認定等について、引き続き普及促進に取り組むとともに、学校や市有建築物での太陽光などの新エネルギー技術の導入などにより「低炭素社会」の実現を図ってまいります。

このように、今後も市民の皆さまの視点に立って、快適に暮らしていただける生活基盤を作りますことを使命に職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

一般社団法人 北海道電業協会 第52回定時総会
一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 第62回定時総会



平成30年5月11日(金)午後3時00分より札幌グランドホテルにおいて、(一社)北海道電業協会第52回・(一社)日本電設工業協会北海道支部第62回定時総会が開催され、会員代表者のほか営業責任者等69名が出席いたしました。

最初に功績者表彰を行い、吉本 浩昌会長から表彰状と記念品が授与されました。

○功績者

・株式会社北弘電社

内線事業本部顧問 矢田 章 様

(協会の役職～経営委員会委員)

内線事業本部内線営業部課長 向平 義美 様

(協会の役職～厚生委員会委員)



役員・功績者を囲んで

開会にあたり吉本会長・支部長から「これまで協会の諸事業、運営等について、会員の皆様方のご協力に感謝を申し上げます。当協会は、昨年、創立50年という節目の年を迎えました。これを機に、電設工事業界に内在する課題、取り巻く環境の変化に鑑み、次の時代に向けて協会事業がどうあるべきか、昨年より議論を開始したところです。平成30年度も、引き続き、取り組む所存です。」と課題や環境変化に対応する活動検討に協力を呼びかけました。(次ページ参照)

引き続き議長として議事の進行に入り、最初に議事録署名人に佐藤 義明氏 (株)でんこう代表取締役)、下川 浩史氏 (住友電設(株)北海道支店長)を指名し議案の審議を行いました。

第1号議案 平成29年度会務・事業の報告

第2号議案 平成29年度収支決算の件、会計監査報告

第3号議案 平成30年度事業計画の報告

第4号議案 平成30年度収支予算報告

第5号議案 平成30年度スローガンの報告

当協会運営および事業実施の基本として、諸課題の克服と将来の業界の地位向上を掲げ、スローガンが採択されました。

第6号議案 役員の補欠選任の件

小笠原 憲生理事（株ドウデン相談役）が辞任しその後任として門脇 雅明新理事（株ドウデン代表取締役社長）が承認されました。

（新役員は4ページ掲載。）



新旧役員挨拶（左）小笠原前理事（右）門脇新理事

以上をもって、報告、審議議案はすべて原案通り承認され北海道電業協会の定時総会を終了いたしました。

引き続き、(一社)日本電設工業協会北海道支部総会が開催され、会員代表者のほか営業責任者等71名が出席いたしました。

吉本支部長が議長となり議事を運営し、議案の審議を行いました。

第1号議案 平成29年度会務・事業の報告

第2号議案 平成29年度収支決算の件、会計監査報告

第3号議案 平成30年度事業計画の報告

第4号議案 平成30年度収支予算の報告

第5号議案 役員の補欠選任の件

新役員は4ページ参照のとおり。

以上をもって、報告、審議議案はすべて原案通り承認され日本電設工業協会北海道支部の定時総会を終了いたしました。

吉本会長挨拶（概要）

会員の皆様には、時節柄たいへんお忙しい中、本日の総会に多数ご出席を賜り、心から厚くお礼申し上げます。また、日頃から当協会の事業活動に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

只今、協会功績者表彰が執り行われましたが、受賞された方々には、常設委員として長年にわたり協会の事業活動に、多大なご尽力を賜りました。心から感謝申し上げます。さて、当協会は、平成25年4月に一般社団法人に移行して今年で6年目に入りました。この間、役員一同、会員の皆様方のご協力をいただきながら、「夢と生きがいのある電設業界」を目指して、諸事業に取り組んでまいりました。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日の2号議案である収支決算と4号議案の収支予算は、「平成20年公益法人会計基準」に則して作成し、掲載しております。

また、一般社団法人移行前の会費軽減措置については、平成24年及び平成29年の総会でご承認をいただき、毎年10%ずつ、元に戻す措置を継続しております。平成30年度は、正規会費の70%をご負担いただくことで収支予算を策定しており、4号議案の中でご説明させていただきます。

5号議案では、30年度のスローガンとして、四項目を重点事項として提案いたしますので、ご採択いただきたいと思います。また、第6号議案では、役員1名が任期中の辞任を申し出ており、後任の補欠選任についてお諮りしますので、ご承認いただきたいと思います。

当協会は、昨年、創立50年という節目の年を迎えました。これを機に、電設工事業界に内在する課題、取り巻く環境の変化に鑑み、次の時代に向けて協会事業がどうあるべきか、昨年度より議論を開始したところです。平成30年度も、引き続き、取り組む所存です。

最後になりますが、本日は二つの総会を併せて開催いたしますので、効率的な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。簡単ですが、定時総会開催にあたっての挨拶といたします。

一般社団法人 北海道電業協会 役員

平成30年5月11日

*太字は新任

役職名	氏名	会社名	備考
会長	吉本浩昌	北海電気工事(株)	
副会長	山口勉	(株)山口電気機械工務所	(総務・厚生各委員会担当)
〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)	(経営・広報各委員会担当)
〃	太刀川雅弘	(株)関電工	(技術安全委員会担当)
専務理事	宇野徹	(一社)北海道電業協会	
理事	橋本耕二	橋本電気工事(株)	総務委員長
〃	脇田智明	(株)北弘電社	経営委員長
〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)	広報委員長
〃	佐藤友昭	(株)きんでん	技術安全委員長
〃	嶋津博	島津電設(株)	厚生委員長
〃	大東勝広	日本電設工業(株)	
〃	門脇雅明	(株)ドウデン	
〃	菊池洋	東光電気工事(株)	
〃	佐藤繁男	協信電気工業(株)	
〃	西山陽一	上川電業協会	
〃	伏木淳	北電力設備工事(株)	
監事	伊東新一	税理士法人松永会計札幌事務所	
〃	稲津亘	北盛電設(株)	
〃	栗原健治	浅海電気(株)	

(敬称略)

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員

平成30年5月11日

*太字は新任

役職名	氏名	会社名	本部役員等
支部長	吉本浩昌	北海電気工事(株)	(支部長・理事)
副支部長	山口勉	(株)山口電気機械工務所	(理事)
〃	鈴木暁彦	拓北電業(株)	(〃)
常議員	稲津亘	北盛電設(株)	
〃	大東勝広	日本電設工業(株)	(諮問委員)
〃	門脇雅明	(株)ドウデン	(〃)
〃	菊池洋	東光電気工事(株)	(〃)
〃	栗原健治	浅海電気(株)	
〃	佐藤繁男	協信電気工業(株)	(諮問委員)
〃	佐藤友昭	(株)きんでん	(〃)
〃	嶋津博	島津電設(株)	(〃)
〃	太刀川雅弘	(株)関電工	(〃)
〃	萩本哲夫	三共電気工業(株)	(〃)
〃	橋本耕二	橋本電気工事(株)	(〃)
〃	伏木淳	北電力設備工事(株)	
〃	脇田智明	(株)北弘電社	
監事	伊東新一	税理士法人松永会計札幌事務所	
〃	稲津亘	北盛電設(株)	(前掲)
〃	栗原健治	浅海電気(株)	(〃)

(敬称略：五十音順)

平成30年度 北海道電業協会スローガン

1. 働き方改革を進めるとともに生産性向上に努め、電設業界の魅力を高めよう

建設産業は、急速に進展する少子化・高齢化社会の中で、建設業従事者の高齢化や若者の建設業界離れが深刻な問題となっている。

若手技術者の就労意識調査によると、就労前と就職後で相違する内容として、「休みが取りづらい」、「残業が多い」、「自由になる時間が少ない」などが上位に挙げられている。こうした労働環境を放置すれば、若年者の入職が進まず、人手不足が加速し生産体制が破綻することが懸念される。

電設業界は、関係機関・関係団体と連携して長時間労働の是正を目指すとともに休日の確保に積極的に取り組み、さらには生産年齢人口が大幅に減少していくことを見据え、ソフト・ハード両面から生産性向上を目指し、業界の魅力を高めていくことに努める。

2. 適正な工期・適正な価格での受注により、長時間労働を抑制するとともに優良な施工品質と安全を確保しよう

工期終盤を担う電気設備工事は、建築の工程遅れによる「しわ寄せ」が大きいのしかかることなど長時間労働が発生しており、過重労働や経費の増加、現場の安全への影響が懸念されるとともに建設工事の品質、性能の低下等の弊害をもたらし、企業の健全な維持・発展をも揺るがしかねない重大な問題となっている。

より品質の高い電気設備を提供するため、「適正な価格での受注を確保」するとともに、適正な受電時期の確保に向けた取り組みや設計図書の精度向上などにより、今後とも一層の「適正工期の確保」を目指す。

3. 品質と価格の透明性を確保するとともに、顧客に最高品質の工事を提供するため、分離発注の一層の浸透を目指そう

顧客との直接対話を通じて、電気設備工事の品質確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、更には、品質とコストとの関係が透明かつ明確で、顧客に対し満足度の高いサービスを提供することが可能な「分離発注」こそ、顧客の投資した資金を有効に活かすことが出来る最も合理的な発注方式であり、分離発注の浸透に向けた提案力の強化を推進する。

4. 電力新時代に対応した新たなビジネスモデルを構築しよう

電力の安定供給は国民生活の最も重要な基盤である。経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界として、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組むとともに、電力システム改革の方向性を見据えた電設業界の新しいビジネスモデルのあり方を検討する。

一般社団法人 北海道電業協会 創立50周年
一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 創設60周年
記念祝賀会



平成30年5月11日(金)定時総会終了後の午後5時30分より札幌グランドホテル(金枝の間)において、(一社)北海道電業協会 創立50周年ならびに(一社)日本電設工業協会北海道支部 創設60周年を記念して祝賀会が開催され、会員企業、来賓など170名が出席いたしました。

開会にあたり、吉本 浩昌会長・支部長から関係者に謝辞を述べた上で「両協会が発足してから、今日までの時代を振り返ると、正に激動の時代でした。発足した当時の高度成長期は、二度に亘るオイルショックで終焉を告げ、不況を克服してバブル景気に沸いたものの、その崩壊とともに平成不況が長引きました。その後は、リーマンショックによる世界同時不況、未曾有の被害をもたらした東日本大震災と続き、それぞれが日本経済に大きな打撃を与えました。

現在は、景気回復の途上にありますが、建設業界は、長きに亘り、辛く厳しい経営環境にさらされることになりました。

こうした中、両協会が、記念すべき節目の年を

迎えることができたのも、本日ご臨席をいただいた皆様をはじめ関係各位の永年に亘るご指導とご支援、そして、幾多の困難に立ち向かい、これを乗り越え、協会を支えていただいた諸先輩のご尽力の賜物と、心より感謝し、敬意を表したいと思えます。

我々も次の時代に向けて、電設業界の健全で持続的な発展を目指していかなければなりません。目の前に迫り来る「人口減少による労働市場の縮小」、「少子高齢化社会」を見据え、魅力ある電設業界を目指して「働き方改革」など着実に進めていく必要があります。

今日、電気設備は重要な社会基盤として、様々な面で人々の生活や産業活動を支えており、技術の高度化、情報化社会の一層の進展に伴い、電設工事の専門的技術の重要性は、益々、高まっています。

両協会は、会員相互の信頼と結束を、より一層強め、北海道のライフラインの一翼を担うという誇りをもって、広く道民から信頼される団体を目

指して活動を展開していく所存です」と挨拶いたしました。

引き続き、ご来賓を代表して国土交通省北海道開発局長 和泉 晶裕様（代理として北海道開発局営繕部長の澤永 好章様）、北海道知事 高橋 はるみ様（代理として建設部建築企画監 平向 邦夫様）、札幌市長 秋元 克広様それぞれの方々からご祝辞を述べられ両協会のさらなる発展に期待を寄せられました。その後、(社)日本電設工業協会後藤 清会長が両協会の前途を祝福する祝杯の音

頭により開宴致しました。

しばらく懇談が進んだ後、祝電披露に続いて、更なる飛躍と多いなる希望を託し、祝賀会ご出席の皆様のご健康とご活躍を祈願して、ご来賓者7名と当協会の吉本会長による鏡開きを執り行いました。

和やかに交換が行われ最後に、当協会の山口勉副会長の閉杯で散開いたしました。

（ご出席いただきましたご来賓ならびに会員の皆様誠にありがとうございました。）

【 ご 来 賓 一 覧 敬称略 】

- 経済産業省 北海道産業保安監督部長 鯉江 雅人 ■経済産業省 北海道産業保安監督部 電力安全課長 仲条 覚
- 経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部長 八木 雅浩
- 経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官 多田 好克
- 国土交通省 北海道開発局長 和泉 晶裕 ■国土交通省 北海道開発局 事業振興部長 水島 徹治
- 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課長 木村 孝司
- 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 電気通信官 中林 道敏
- 国土交通省 北海道開発局 営繕部長 澤永 好章
- 国土交通省 北海道開発局 営繕部 営繕整備課長 森廣 和幸
- 国土交通省 北海道開発局 営繕部 営繕整備課 設備技術対策官 武藤 真
- 北海道 建設部 建築企画監 平向 邦夫 ■北海道 建設部 建築局長 椿谷 敏雄
- 北海道 建設部建築局 建築整備課 設備・環境担当課長 関根 伸
- 北海道 建設部建築局 建築整備課 電気設備G主幹 高田 誠
- 札幌市長 秋元 克広
- 札幌市 都市局長 佐藤 博 ■札幌市 都市局建築部 設備担当部長 中村 範仁
- 札幌弱電設備業協同組合 副理事長 横田 圭介 ■札幌電気工事業協同組合 理事長 小野寺 涼一
- (社)札幌電設業協会 副会長 加藤 定義 ■電気新聞北海道支局長 藤田 忠
- (社)日本電気協会北海道支部 専務運営委員 事務局長 島田 雄二
- (社)日本電設工業協会 会長 後藤 清 ■(社)日本電設工業協会 常務理事 中山 伸二
- 北海道電力(株) 取締役副社長 藤井 裕 ■(社)北海道建築士事務所協会 会長 庄司 雅美
- (社)北海道建築士会 会長 高野 壽世 ■(社)北海道設備設計事務所協会 会長 種市 由夫
- (社)北海道空調衛生工事業協会 会長 池田 薫 ■北海道電気資材卸業協同組合 理事長 三神 司
- 北海道電気工事業工業組合 専務理事 南雲 恵 ■(株)北海道建設新聞社 営業部長代行 新関 寛
- (社)北海道電業協会 元会長 遠藤 健 ■(社)北海道電業協会 元会長 吉川 照一
- (社)北海道電業協会 元理事 加藤 勝利 ■(社)北海道電業協会 顧問 大房 孝宏
- (社)北海道電業協会 顧問 中野 章 ■監事 (税理士法人松永会計札幌事務所) 伊東 新一



吉本会長挨拶



澤永 北海道開発局 営繕部長



平向 北海道建設部 建築企画監



秋元 札幌市長



(中央) 後藤 日本電設工業協会会長



閉杯 山口副会長





就任ご挨拶



帯広電業協会 会長
川岸電設(株) 代表取締役

川 岸 哲 夫

このたび、平成30年度通常総会におきまして、皆様の総意を得て、帯広電業協会

会長という大役を承る運びとなりました。

歴史と伝統あるこの協会を、強いリーダーシップで運営してこられた前会長の後を引き継ぐことは、非常に重大な責務だと深く感じております。改めて、身も心も引き締めて、全身全霊で取り組んでいく所存でございます。

近年、我々電気業界だけでなく、建設業界や他業種でも人手不足が問題になっております。若年入職者の減少と高齢化が進行しております。

優秀な技術者や技能労働者の確保・育成は喫緊の課題となっております。協会としても特に若い人材がここ十勝に留まりたくならないような環境づく

りが必要だと思っております。

その為に、当協会も今年度は役員改選の際、若い人材を起用しました。幅広い意見を取り入れて、問題解決に取り組んで行こうと考えております。

中でも関係発注機関・関係団体はもとより、学校機関への訪問及び関係者との意見交換など積極的に行い、電気業界の実情を説明、ご理解して頂き、指導方法等など時代に適した体制を構築していきたいと考えております。我々が住む地域のさらなる発展のため、当電業協会会員各社が力を合わせ業界の未来のために邁進していく所存であります。

そのためにも、風通しのよい協会作りを徹底しようと思っております。それには皆様のご協力が必要不可欠です。どうぞ宜しくお願い致します。

結びに北海道電業協会の発展と会員皆様のご繁栄、ご祈念を申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



(株)サンテック北海道支社
支社長

澤 田 幸 治 朗

夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、平成30年4月1日付で前支社長 滝沢 英美の後任として北海道支社長に就任いたしました澤田 幸治朗でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

経験不足ではございますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、協会の発展と業界の繁栄のために微力ではありますが最善を尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願ひ致します。

弊社は昭和12年（1937）に「満長組」として広島で創業し、電気設備工事会社として、本年10月に創業70周年を迎えようとしております。

昭和23年（1948）10月に「山陽電気工事株式会社」に改組、平成4年（1992）に社名を現在の「株式会社サンテック」に改称しました。

北海道支社は昭和27年（1952）7月に札幌営業所として開設され、昭和54年（1979）10月に北海道支社となり、現在に至っております。営業所として開設以来、今年で66年目となります。北海道は現在、建設ラッシュを迎えている様に見えますが、数年後以降は厳しい状況であると考えられます。技術者・技能者不足という問題が浮き彫りとなり、弊社としても人材育成が急務であることを実感しております。今後の更なる発展を目指すために、これからの世代が未来に希望を感じながら働ける健全な労働環境、そして資格取得に向けてステップアップを目指せる協力体制をしっかりと作り上げたいと考えております。

最後になりますが、当協会のますますのご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

顧 問 会

平成30年5月8日(火)午後5時から、北二条クラブにおいて、今年度の顧問会を開催いたしました。当日は大房顧問、中野顧問、当協会からは、会長、山口副会長、鈴木副会長、宇野専務理事、類家事務局長が出席いたしました。

最初に吉本会長から挨拶があり、常日頃からの当協会運営に対するご理解・ご支援に謝辞を述べた後、当協会の現状について説明いたしました。

引き続き、事務局から当協会の現況、5月11日(金)

開催予定の定時総会の議案書に基づき、平成29年度事業報告、役員改選(案)、創立50周年記念事業などについて報告いたしました。

大房、中野両顧問からは、今後の協会運営に対して貴重なご意見やご提言をいただき、今後の活動の一助とさせて頂きました。このあと、懇談会に入り、いつもながらの時事放談や健康談義に花が咲き、和やかなうちにお開きとなりました。



「建築設備検査員講習会のご案内」

- ・実施機関：(一財)日本建築設備・昇降機センター
- ・開催地：札幌
- ・開催日：平成30年10月23日(火)～26日(金)
- ・会場：北海道経済センター 8階
- ・住所：札幌市中央区北1条西2丁目

申し込み手続き等詳細は実施機関ホームページでご確認ください。



『世界に誇れる田園都市』を目指して ～滝川市～

滝川市長 前田 康吉



■市の概要

滝川市は、北海道の中央西部に位置し、石狩川と空知川に挟まれた平野部に広がっています。土地はおおむね平坦で、ゆるやかな丘陵地となっています。

明治23年に「滝川村」として開村し、屯田兵の入植により開拓が進められ、上川道路（現国道12号）の開削、上川鉄道（現JR函館本線）や下富良野線（現JR根室本線）の開通により、資材や生活物資の流通地として栄え、周辺の産炭地域・農業地域に支えられながら、交通の要衝としての地勢を活かし、商業・サービス業の町として発展してきました。昭和33年に「滝川市」となり、昭和46年には江部乙町と合併して、新生「滝川市」が誕生しました。

現在は人口40,523人（平成30年3月末現在）、面積は115.82㎡、北海道の主要鉄路である札幌と旭川を結ぶJR函館本線と、道東へ延びるJR根室本線が通っているほか、道路網についても札幌から旭川に向かう国道12号、道東へつながる国道38号、日本海へ通じる国道451号と各方面への結節点に位置するなど、利便性の高い地域です。

また、滝川市の基幹産業の一つである農業では、水稻や小麦、大豆等の主要作物以外にも、花きや野菜類など多種多様な作物が栽培される肥沃な大地が広がっています。

■滝川市の魅力

●「日本で最も美しい村」連合に加盟

～『江部乙（えべおつ）』

滝川市の江部乙地区は平成27年10月に「日本で最も美しい村連合」に『江部乙』として地域加盟しました。「日本一の菜の花畑」と「防風林に囲まれたりんご畑」が、美しい景観と環境や文化を守り育てる地域資源として認定されました。



●防風林に囲まれたりんご畑

●作付け面積日本一の『菜の花畑』～幸せ色の丘

「日本で最も美しい村連合」に加盟している江部乙には、菜の花畑が点在し、その作付け面積は日本で有数の広さを誇ります。本来、商品作物でありながら貴重な観光資源となったナタネは、今では作付け面積日本一（平成30年度は4年連続日本一）の菜の花畑として有名になりました。『幸せ色の丘』とよばれる丘陵地一面に咲く菜の花畑は、見る者の心を揺さぶるほど圧巻の景色です。



●作付け面積4年連続日本一！

●澄みきった大空を空中散歩

菜の花に次ぐ当市の観光資源のひとつに『グライダー』があります。「たきかわスカイパーク」では経験豊富なインストラクターの操縦によるグライダーの体験飛行を楽しむことができます。エンジン音のない静寂の空や眼下に広がる広大な景色を楽しみながら、空中散歩してみませんか？



●『味付けジンギスカン』発祥の地

滝川市は「味付けジンギスカン発祥の地」と言われており、市内には味付けジンギスカンの代表格である「松尾ジンギスカン」をはじめ、5つのジンギスカンメーカーがあります。ジン井やジンギスカン焼きそばなど市内の飲食店でも工夫を凝らしたメニューがあり、まさにジンギスカンのまちと言



※写真提供：株マツオ

えます。滝川市の特産品であるリンゴや玉ねぎを使用した独自のタレに付け込まれており、柔らかくジューシーな味わいは市民のソウルフードとして永く愛されています。

●幸福を求めて～『笑う狛犬』



最近、密かに注目を浴びている場所に「江部乙神社」があります。この江部乙神社の境内

には、ニンマリと口を開け、なんとも愛くるしい表情の『笑う狛犬』が鎮座しています。この笑う狛犬が「開運や招福」をイメージし、「インスタ映え」といった理由から、SNSなどの口コミで拡がり、いまでは一風変わった笑う狛犬の「御朱印」や「お守り」を求め、全国各地から参拝者が訪れています。

●冬のまちを彩る～『たきかわ紙袋ランタンフェスティバル』

毎年2月中旬に開催される「たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」は、滝川市出身の彫刻家・五十嵐威暢氏の発案により、平成15年に約2,000個の紙袋ランタンから始まりました。今では多くの市民やファンに支えられ毎年約15,000個もの作品が並び、道内外からも観光客が訪れるほどのイベントに成長しました。個性豊かな紙袋ランタンに、ろうそくの優しい灯りが冬のまちを彩る幻想的な風景は、大きな感動をもたらしてくれます。





ひと、まち、自然が調和するまち・おこっぺ ～興部町～

興部町長 裕 一 寿



■まちの概要

興部町は、オホーツク総合振興局管内の北西部、オホーツク海の中心部に位置し、東西34.2km、南北24.4km、面積は362.54km²に及びます。

明治22年に和人が初めて定住越冬したことから、この年が「おこっぺ」の始まりの年となっており、今年で130年になります。

町の人口は3,843人で、世帯数は1,815戸です。
(4月末現在)



■産業

興部町の基幹産業は、酪農業と漁業です。酪農業は、農家が73戸あり、牛の数は町の人口よりも多い1万頭を超え、生乳生産量は50,351tとなっています。



また、酪農におけるバイオマス資源は、乳牛排泄物が大部分を占めるなか、その多くは堆肥化され農地に還元されていますが、散布時に臭気が市

街地に流れるなどの問題があり、未熟の堆肥散布による草地の劣化等の影響も考え、町ではこれらの課題解決のため「緑のまちづくり計画」を策定しました。このバイオマスを活用して家畜排せつ物の発酵処理を行うとともに、エネルギーの地産地消や新たな産業づくりなどを大きな目標に掲げ、平成20年からバイオマスタウン構想の策定を開始し、平成26年にバイオマス産業都市に認定されました。平成28年11月には、「興部北興バイオガспラント」が完成し稼動しています。



漁業では、サケ、マス、毛ガニ、ホタテなどの沿岸資源を中心に営まれています。興部と沙留に漁港を有し、それぞれの漁港機能を生かすための施設整備を進めるとともに、漁場の研究や管理を行っています。近年、漁業を取り巻く状況が厳しさを増すなか、本町ではオホーツク海の風土に合った栽培漁業や資源管理型漁業に力を注いでいます。厳冬期のオホーツク海を閉ざす流水からウニやコンブを守るべく防氷提を設けたり、養殖技術の向上に努めながら、サケの中間育成、ホタテの種苗確保に向けて的確な放流を図るなど「つくり育てていく漁業」を推進しています。漁業と連携する水産加工品の流通体制の強化に努め、消費者ニーズに即した衛生管理型漁港への整備も着々と進行中です。

■主な行事

◎おこっぺ夏まつり（8月第1土日曜日）



夏の大きなイベントで、前夜祭では間近で見られる3,000発の花火が大好評です。

本祭では、特産品のタイムセールや牛肉ホタテまつり、無料かに汁の提供、各種ゲームや売店、ライブや抽選会など多彩な内容となっています。

◎おこっぺ牛乳（ちち）の里マラソン大会

（10月第1日曜日）



おこっぺ100年記念で始めたこのマラソン大会は、3 km、5 km、10km、ハーフの種目があり、毎年町内外からたくさん参加されています。

大会後には交流会があり、参加者におにぎりやサケ鍋が振舞われ、秋サケや特産品などが当たる抽選会があります。

◆興部町ホームページ

<http://www.town.okoppe.lg.jp>

平成30年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



講習会は、将来を担う新人や入社数年の若手社員への人材育成を目的に平成4年度から毎年実施されており、今回は14社から31名が受講した。

(一社)日本電設工業協会が編さんした新人教育用テキスト等を用いて4月3日(火)～6日(金)の4日間、北海道電気会館大ホール会議室において電気設備技術者の基礎となる講習会を開催いたしました。

技術安全委員会の内山 優副委員長は開講挨拶で「研修は工事が携わる人全員が習得しなくてはならない基本的知識の講習」であると講習会開催の目的を示し、さらに「建築物が高度化、複雑化する中、絶えず自己研さんが重要である。高い技術力が信頼につながる。」と技術者としての姿勢を説き、講習会を通じてスキルアップや資格取得につなげてもらいたいと呼びかけました。

講習会では、当協会の7人の技術安全委員が講師となり、電気設備技術者としての役割や設計・積算の基本、電気工事の施工など技術と安全に関する知識を教えた。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け電気設備概論や安全衛生教育の必要性などを学んだ。



開講挨拶 内山技術安全副委員長

【講習内容と講師紹介】

主な講習項目	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) 内線第二課長 佐々木 勇氏	
電気と安全、 労働災害防止	北海電気工事(株) 安全品質部 次長 半崎 郁哉氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	北海電気工事(株) 電設工事部GL 中村 淳一氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 技術課長 村上 雅春氏	
配線工事の基本 幹線設備等	拓北電業(株) 取締役工事本部長 宮森 慎一氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 技術部担当部長 内山 優氏	
防災設備 雷保護システム等	協信電気工業(株) 取締役工務部長 小川 恒明氏	

平成30年度 1級電気工事施工管理技術検定（学科試験）受験講習会



平成30年4月17日(火)～18日(水)の2日間、北海道建設会館9階大ホールにおいて、(一社)日本電設工業協会北海道支部と(一財)地域開発研究所との共催で、1級電気工事施工管理技術検定（学科試験）受験準備講習会を実施いたしました。講習会のオリエンテーションではまず、1級電気工事施工管理技士について「建設業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者、主任技術者となる資格要件」であり、本検定試験の資格取得は、本人は勿論のこと企業にとっても極めて重要な資格となることを説明。

講師は、それぞれの分野で活躍されている経験豊富なベテランぞろいで、出題科目の範囲や出題傾向など適切なアドバイスをを行いました。

今年の受講者は68名で、6月10日(日)の試験本番に向けて真剣に耳を傾けていました。学科試験の合格発表は7月20日(金)で、合格者は10月14日(日)の実地試験に臨み、来年2月1日(金)の合格発表で晴れて1級電気工事施工管理技士となります。

参考として、平成29年度の全国の1級（学科）における受験者数は21,191人、合格率は全国平均48.0%（前年46%）で受験生にとっては厳しい狭き門となっています。

【講習プログラム・講師一覧】

	日		程	教 科 目	講 師 名
第1日目	4/17 (火)	午前	9:25 ～12:25	電 気 工 学	北海道大学 電力システム研究室 教授 北 裕幸氏
		午後	13:15 ～18:15	施設電気設備 施 工 管 理	大成建設(株)札幌支店 課長 青戸 洋司氏
第2日目	4/18 (水)	午前	9:00 ～12:20	法 規	(一財)地域開発研究所 専任講師 丹治 秀男氏
		午後	13:10 ～18:00	構内電気設備	大成建設(株)札幌支店建築部 設備長 北川 裕幸氏

～シリーズ～ 「私のいちおし」

拓北電業株式会社

代表取締役社長 鈴木 暁彦

今回は私のおすすめのラーメン店をご紹介します。

店名は「北乃ラーメン」です。開業して25年になる地域の人たちに愛され親しまれているお店です。私も通い始めてから、20年くらいは経っていると思います。

このお店のラーメンの特徴は何といっても、現在の店主である高澤 央憲さんが、先代であるお父さんから引き継ぎ、守ってきているスープです。材料の鶏がらを丁寧に煮込み、化学調味料を一切使わない濁りのない透き通ったスープは絶品です。



ラーメン店の本当の力を知るためには、他の味でごまかすことの出来ない「塩ラーメン」を食べてみるのが一番です。シンプルながらも、奥深い味わいの塩ラーメンを是非とも食べて頂きたいです。

また、もう一つの私のおすすめが、「北乃特製ラーメン」です。これは、みそ味で口当たりの良い辛みが口の中に広がり、でもその辛さはスーッと消えていきます。スープを飲んでいくと止まらなくなるので要注意です。

この他、みそ味、しょうゆ味もありますので、是非試して頂きたいですし、お昼の時間帯はランチセットがおすすめです。また、その他のメ

ニューとして、水餃子やチャーハン、カレーライスなどもあります。

ここでちょっとしたエピソードをご紹介します。かなり昔の話になりますが、当社の社員が頻繁に来店していた様です。その時に「ラーメンばかりでは飽きるだろう」ということで、チャーハンメニューに加えて頂いたということです。なんだか、ほっこりしますね。

私はいつも「塩ラーメン」か「北乃特製ラーメン」のどちらかを注文するのですが、裏メニューで頼んでいます。メニュー表には大盛りというものがあり、麺は2人前分になります。でも、それだと少し多い気がします。なので、私は中盛りを頼みます。

これは麺が1.5人前分で、メニュー表にはありませんので、常連さんしか知りません。

この様に特別感があるのも嬉しいことですし、私は色々なところでラーメンを食べる機会があるのですが、「やっぱり、北乃ラーメンが一番美味しいなあ～」とってしまいます。

是非ともお近くにお越しの際には、お店に寄って美味しいラーメンを食べて頂きたいですし、常連さんになって裏メニューを頼んでみてください。



私（左）と店主の高澤さん（右）

店 名：北乃ラーメン

住 所：札幌市中央区北7条西18丁目4番21号

電 話：011-622-7572

営業時間：平 日 午前11時～午後8時

定 休 日：日曜日・祝日

厚生委員会行事報告

第1回ゴルフ大会 平成30年5月23日(水) 茨戸カントリークラブ 参加者35名

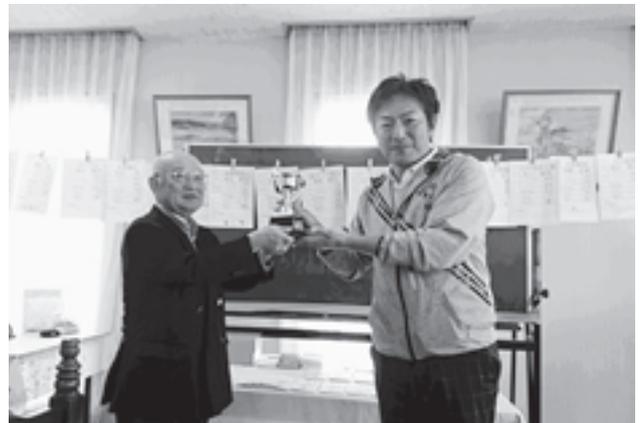
順位	氏名	会社名	イン	アウト	GROSS	HC	NET
優勝	松井 良一	札幌日信電子	45	46	91	20	71
準優勝	戸塚 達夫	日比谷総合設備	42	40	82	10	72
3位	滝澤 秀樹	滝沢電気	53	50	103	30	73
4位	山上 幸夫	振興電気	42	43	85	10	75
5位	松原 一朗	北明電気	42	42	84	8	76
6位	佐藤 信悦	旭日電気	47	46	93	16	77
7位	富江 覚司	日比谷総合設備	49	50	99	22	77
8位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	47	46	93	15	78
9位	橋本 佳明	橋本電気	47	54	101	23	78
10位	石田 啓二	山口電気	41	44	85	6	79

(特別賞)

B	G	戸塚 達夫	日比谷総合設備
平和賞		加藤 定義	北盛電設
大波賞		木村 賢史	道タツマ電気
小波賞		佐口 紀浩	日本電設工業
B	B	川喜田邦夫	能美防災
ラッキー賞		須貝 勝壽	亜細亜電気
N	P	山上 幸夫	振興電気
N	P	赤松 博昭	北陽電材
N	P	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ
N	P	山口 邦治	山口電気
N	P	須貝 勝壽	亜細亜電気
N	P	小野寺涼一	大成電気



第1回大会 スタート前



第1回大会優勝者 松井さん(右) 山口副会長(左)

○平成30年度 競技日程およびコースについて

	月日	曜日	場所	スタート
第1回	5月23日	水	茨戸カントリークラブ	8時10分
第2回	6月22日	金	札幌南ゴルフクラブ(駒丘)	7時30分
第3回	7月19日	木	札幌エルムカントリークラブ(西)	7時30分
第4回	9月19日	水	札幌芙蓉カントリー倶楽部	8時35分

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成30年4月1日付) (平成30年5月1日付)

○(株)サンテック北海道支社
(新) 支社長 澤田幸治朗
(旧) 支社長 滝沢 英美

○大成電気(株)
(新) 代表取締役社長 小野寺 智
(旧) 代表取締役社長 小野寺涼一

【住所の変更】

(平成30年5月1日付) (平成30年3月21日付)

大成電気(株)
(新) 〒002-0858
札幌市北区屯田8条7丁目1-34
TEL 011-792-1521 FAX 011-792-1554

○北工電気(株)札幌支店
(新) 支店長代理 田村 富生
(旧) 支店長 迫田 光慈

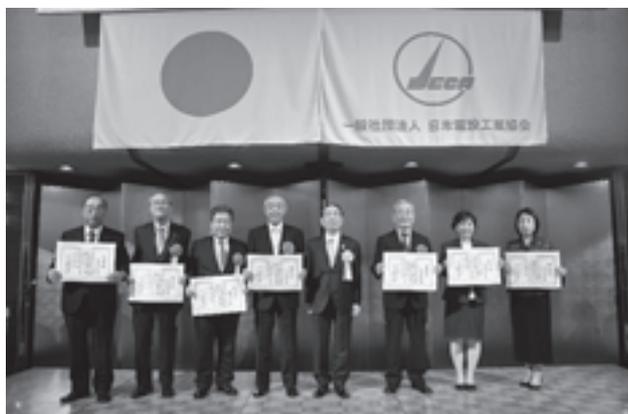
日本電設工業協会関係分

【功績者表彰】

第68回定時総会 (平成30年5月1日開催)
橋本電気工事(株)
代表取締役会長 橋本 耕二

【三輪・富井賞受賞】

第68回定時総会 (平成30年5月1日開催)
(株)北弘電社
相談役 中野 章



(左から3番目) 橋本さん



(右から2番目) 中野さん

三輪・富井賞規程 (抜粋)

(受賞の対象および数)

第2条 表彰の対象範囲は、次の通りとする。

- (1)電気設備工事の技術について、画期的成果をあげた者又は団体。
- (2)電気設備工事事用材料、機器、計器、工具等について顕著な発明考案をなし、またその普及に努めた者又は団体。
- (3)電気設備工事に關する規程、材料、機器に關する規格等の研究制定に著しい功績のあった者又は団体。
- (4)電気設備工事事現場の災害防止に著しい功績のあった者又は団体。
- (5)業界の地位向上、繁栄に特別の成果をあげた者又は団体。
- (6)電設技術を通じての環境改善、環境問題への取り組み・施策・普及に努めた者又は団体。
- (7)その他

2 受賞者又は受賞団体の数の合計は、原則として毎年4名以内とする。

(受賞候補者の推薦)

第3条 受賞候補者は、第2条に該当する者又は団体を本会本部及び本会支部が推薦し、取りまとめは本部が行う。

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成30年4月26日(木) 12:00~13:30

第1回議題

【協議事項】

1. 電業協会第52回、電設協道支部第62回定時総会付議事項について
2. 定時総会準備状況について
3. 定時総会の進行案について
4. 記念祝賀会の進行案について
5. 定時総会・記念祝賀会の運営案について
6. 任期満了に伴う役員候補選任について
7. 定款21条第5項の規定に基づく職務執行状況について

以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成30年度技術・安全衛生基礎教育講習会（新人研修）の開催結果
2. 技術講習会の開催結果
3. 電設協第68回定時総会の開催について
4. 電設協第8回諮問委員会の開催について
5. 北海道電気資材卸業協同組合の通常総会後の懇親会のご案内について
6. 建災防道支部 平成30年度第1回役員会の開催について
7. 日本電気協会北海道支部第71回支部大会の開催
8. 建設産業専門団体道地区連合会 平成30年度通常総会の開催について
9. 会員の諸変更について
10. 平成30年5・6月行事予定について
11. その他意見交換会

以上概要を報告（宇野専務理事）

◇平成30年6月21日(木) 12:00~13:30

第2回議題

【協議事項】

1. 平成30年度役員会等主要行事日程について
2. 平成30年度役員・常設委員会の体制について
3. 平成30年度電気・空衛連絡協議会に係る関係官庁との調整状況について
4. 平成30年度経営者懇談会、セミナーの開催日程等について
5. 平成30年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念イベントにおける後援について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 電設協役員等の選任、選定結果について
2. 平成30年度安全大会の開催報告について
3. 平成30年度安全パトロールの実施について
4. 平成30年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
5. 電気通信事業に関する意見交換会の実施について
6. 建設キャリアアップシステム説明会の開催について
(以下省略)

|| 三 役 会

◇平成30年4月10日(火) 12:00~13:30

第1回議題

1. 電業協会第52回、電設協道支部第62回定時総会付議事項について
2. 協会第52回・電設協第62回定時総会の進行(案)について
3. 定款21条第5項の規定に基づく職務執行状況報告
4. 平成30年度技術・安全衛生基礎教育講習会開催報告
5. 札幌電設業協会定時総会後の意見交換会のご案内
6. 会員の諸変更について
7. 平成30年4・5月行事予定について

8. その他意見交換

◇平成30年5月8日(火) 15:30~16:50

第2回議題

1. 電業協会52回及び電設協道支部第62回定時総会の進行案について
2. 記念祝賀会の進行案について
3. 定時総会及び記念祝賀会の運営案について
4. 顧問会の開催について
5. 平成30年度「札幌協通常総代会懇親会」開催のご案内について
6. 平成30年度「札幌協親睦ゴルフ大会」のご案内について
7. 会員の諸変更について
8. 平成30年5・6月行事予定
9. その他意見交換

◇平成30年6月5日(火) 12:00~13:30

第3回議題

1. 平成30年度の役員会等の主要行事日程について
2. 平成30年度の常設委員会の体制について
3. 平成30年度経営者懇談会、セミナーの開催日程等について
4. 平成30年度安全大会の開催について
5. 会員の諸変更について
6. 平成30年6・7月行事予定
7. その他意見交換会

総務委員会

◇平成30年6月7日(木) 12:00~13:30

第1回議題

1. 総務委員会の体制(案)について
2. 平成30年度総務委員会事業実施計画(案)について
3. 平成30年度経営者懇談会の開催について
4. 平成30年度「建設産業ふれあい展」の企画・運営について
5. その他意見交換

経営委員会

◇平成30年6月18日(月) 12:00~13:00

第1回議題

1. 第5回議事録の承認について
2. 本部第278回政策委員会の概要報告について
3. 平成30年度経営委員会委員について
4. 平成30年度経営委員会事業計画(案)について
5. 札幌開発建設部との意見交換会について
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成30年6月12日(火) 15:00~17:00

第1回議題

1. 平成30年度広報委員会委員について
2. 平成30年度事業実施計画について
3. 会報「秋号」の編集方針(案)について
4. 会報「夏号」の校正について
5. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成30年6月11日(月) 12:00~13:00

第1回議題

1. 平成30年度技術安全委員会委員について
2. 平成30年度技術安全委員会実施計画について
3. 実施報告
 - ① 平成30年度技術・安全衛生基礎教育講習会
 - ② 平成30年度電気工事施工管理技術検定(学科試験)受験講習会
4. 平成30年度安全大会の開催について
5. 平成30年度札幌市電気設備施工研修会の開催について
6. 平成30年度登録電気工事基幹技能者認定講習会について
7. 電気設備工事現場見学会の開催日程・見学先について
8. 安全パトロールの開催について
9. その他意見交換

事務局日誌

4月3日(火)・技術安全衛生基礎教育講習会
～6日(金)まで

4日(水)・広報委員会(記念誌)

10日(火)・第1回三役会議

13日(金)・技術講習会

(釧路市交流プラザさいわい)

類家事務局長

16日(月)・監事監査

17日(火)・1級電気工事施工管理検定受験講習
会(北海道建設会館)

18日(水)・札幌電設業協会創立15周年記念式
典・祝賀会

(札幌ビューホテル大通公園) 宇野専務

19日(木)・札幌商工会議所設備工事部会

(札幌グランドホテル) 宇野専務

20日(金)・本部第349回運営委員会

吉本支部長

23日(月)・本部理事会

(グランドホテル) 吉本支部長

26日(木)・第1回理事会・常議委員会

5月8日(火)・第2回三役会議

・顧問会(北2条クラブ)

11日(金)・電業協会第52回・道支部第62回定時
総会

・電業協会創立50周年・道支部創設60
記念祝賀会(札幌グランドホテル)

17日(木)・本部第68回定時総会・創立70周年記
念祝賀会(ホテルグランドパレス)

吉本支部長他

・札幌電協第68期通常総

(札幌ビューホテル大通公園)

宇野専務

18日(金)・ゴルフ部会

22日(火)・本部第278回政策員会

笠島経営委員

・日本電気協会第71回支部大会

(札幌グランドホテル) 宇野専務

・建災防道支部役員会

(札幌ガーデンパレス) 類家事務局

23日(水)・第1回ゴルフコンペ(茨戸CC)

25日(金)・第1回歌唱部会(ナイトバンク)

31日(木)・北海道電気安全委員会総会

(北海道電気会館) 宇野専務

6月5日(火)・第3回三役会議

6日(水)・道工組懇親会

(札幌ビューホテル大通公園)

吉本会長

7日(木)・第1回総務委員会

8日(金)・本部常任理事会

・第350回運営委員会 吉本会長

・建災防札幌分会総会

(札幌全日空ホテル) 宇野専務

11日(月)・第1回技術安全委員会

12日(火)・第1回広報委員会

・建専連北海道地区総会 宇野専務

13日(水)・安全大会(北海道電気会館)

14日(木)・電気設備施設見学会

～15日(金)

15日(金)・建災防札幌分会安全週間説明会

(北海道建設会館) 宇野専務

18日(月)・第1回経営委員会

19日(火)・ゴルフ部会

・札幌電協親睦ゴルフ大会

(札幌南) 太刀川副会長

20日(水)・会社対抗ソフトボール大会

(美香保公園球場)

21日(木)・第2回理事会・常議委員会

22日(金)・第2回ゴルフコンペ(札幌南GC)

26日(火)・安全パトロール(苫小牧)

27日(水)・北海道建災防大会

(札幌共催ホール) 宇野専務

28日(木)・第1回厚生委員会

29日(金)・第1回ボウリング部会

(スガイディノスノルベサ)

編集後記

木々の緑も深みを増し、初夏の日差しが日ごと眩しくなる季節となりました。

この度は、会報「夏号」の発刊にあたり、札幌市の佐藤都市局長様よりご寄稿いただき、心より御礼申し上げます。

札幌市も、昭和の高度成長期に竣工した多くの施設の建替え・再整備の時期に差し掛かっておりますが、これからの時代は、省エネルギー化、新エネルギー導入、防災力の強化等々の視点も重要になってくるとのことですので、私どもも技術力を研鑽しつつそれらの整備事業に取り組んでいければと思うところであります。

さて、(-社)北海道電業協会は、去る5月11日に「創立50周年記念祝賀会」を開催いたしました(-社)日本電設工業協会北海道支部は60周年)、ご臨席いただきましたご来賓の皆様には数々のお祝いの言葉を頂戴するなど、大変盛会となりましたこと厚く御礼申し上げます。

また、私ども広報委員会を中心に1年以上かけて編集して参りました「50周年記念誌」ですが、多くの皆様にご寄稿いただき、おかげ様で大変すばらしい出来になったと感慨深いものがあります。(完成品を手にした時に思わず涙ぐんだ広報委員も居たよう聞いております。) 配布させていただきました関係各所の皆様にはぜひご一読いただきたくお願いいたします。

広報副委員長 伏木 淳



発行 平成30年7月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodengkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>